**学会「課題研究(第4次)」**メンバー募集！

2018年度から2年間，以下のテーマで新たに「課題研究(第4次)」を行うことになりました。今日の教育課題に対して家庭科教育はどのようにかかわる必要があるのか追究しながら，家庭科の学びを問う研究を行います。

希望する方は，ふるってお申し込み下さい。

◇テーマ：　**未来を支える力と家庭科**

◇趣旨： 新学習指導要領の内容が示され，次世代の教育のあり方が問われています。家庭科の学習指導要領においては，未来を支える力として，少子高齢社会に対応する力や生活課題を解決するために必要な社会参画力，持続可能な社会を構築する力，生活文化の継承・発信などが示されています。このような動向に対し，学会の課題研究として取り組むべき２つの観点があると考えられます。

一つは，家庭科で育てる学力（資質・能力）とは何か，その整理を理論的に進め，教科の本質を明らかにし，学校教育における家庭科の意義，役割を広く発信することです。もう一つは，学校現場の抱える課題の解決に向かう，実践やカリキュラムの研究です。

課題研究ならではの協働性を生かし，理論や信頼性の高いデータに基づく提起となる次のような研究を期待しています。

1. 家庭科の学力（資質・能力）の育成状況を明らかにする児童生徒を対象とした調査・実証研究（例：高等学校「家庭総合」「家庭基礎」で学力の質はどう異なるかの検証等）

②実習等における少人数指導やティームティチングの効果（授業比較による検証等）

③家庭科教員養成に関する調査･実証研究（学生や教員の実態，研修やカリキュラムの検証等）

◇研究期間：　2018年7月～2020年6月（2年間）

※第1回研究会（顔合わせの会）を，茨城大会開催中の7月8日（日）12:30～13:00（B204号室）で予定しています。

◇研究助成：　各グループ年間10万円の予定（会議費，通信費，資料費等。交通費の使用は不可）

**【　応募について　】**

・資格　正会員・学生会員 （但し，2014～2015年度の課題研究メンバーは応募できない）

・締切　2018年5月31日（木）

・方法　以下を記入の上，事務局までＥメールまたはファックスで申し込んで下さい。

　　　　アドレスは裏面に記載しています。裏面の様式をご利用いただいても結構です。

１）氏名・会員番号・会員の種類（正会員・学生会員）

２）所属

３）連絡先（メールアドレス・電話番号・住所）

４）取り組みたい研究の希望番号（上記①～③）およびキーワード（３語程度）

　　（※グルーピングやテーマ調整のため，第１回研究会で応募者に一覧表を配布する

可能性があります。）

日本家庭科教育学会事務局　御中

Ｆａｘ：０３－３９４２－７８８５

　　E-mail:kateika@amethyst.broba.cc

「課題研究」メンバー申込書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １）・会員番号 | | （会員番号）    No. | | □正会員　□学生会員  （該当する方に印をつける） | |
| ２）所　属 | |  | | | |
| ３）  連絡先 | メール  アドレス |  | | | |
| 電 話 番 号 |  | | | |
| 住　所 | 〒 | | | |
| ４）取り組みたい研究の希望番号（チェックを入れて下さい)およびキーワード（３語程度） | | □①家庭科の学力（資質・能力）育成状況を明らかにする児童生徒を対象とした調査・実証研究  □②実習等における少人数指導やティームティチングの効果  □③家庭科教員養成に関する調査･実証研究 | | | |
|  |  | |  |

※１）～４）の必要事項が記入されていれば，この様式でなくてもかまいません